

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 2年次生 深町亜由

1. はじめに

この度、国際交流基金助成事業の助成を受けて2025年8月9日から9月1日まで英語力の向上と、異なる文化に触れることを目的にイギリスを訪問致しましたので報告致します。滞在中はホームステイを選択し、語学学校 EF ロンドン校に通いました。



2. イギリス

私が訪れたイギリスは長い歴史と豊かな文化を有する国であり世界の政治、経済、文化に大きな影響を与えています。歴史を感じられる街並み、世界的に有名なビッグベン、現地の方の British English、地下深くにある複雑な電車、全てに圧倒されました。地元の方はとても陽気でお昼からスーツ姿でお酒を飲んだり、初めて電車で出会った人と話したり社交性に溢れた文化にとても魅了されました。道に迷っていると向こう側から話しかけて助けてくださることや、すれ違った人に服装を褒めて頂いたこともありとてもロンドンという街が好きになりました。

3. 語学学校

初日に先生と1対1で行う簡単なテストでクラス分けされ1クラス10人程で授業を受けました。授業は初日に教科書が配られ1日1つのトピック「友達」や「国」を通して文法や発音、会話での使い方を学びました。自分の意見を自分の言葉で説明する機会や、クラスメイトとの交流もたくさんあり積極的に授業に参加することができました。授業は先生によって様々な形態をとりますが、私の先生はbingoやアプリを使ったゲームがあり楽しみながら学ぶことができました。学校はヨーロッパから来ている生徒がほとんどでした。ヨーロッパの人は母国の言語が英語と似ていることもあり日本人より英語を話すレベルがとても高いように感じました。最初は自分が話せず不甲斐なく感じる部分もありましたが、みんなとても親しみやすい人ばかりで言い間違いや、話すことがゆっくりでも真剣に理解しようとしてくれました。また、この学校はアクティビティが充実しており毎日何かしらのイベントがありました。私はポートパーティーや週末のドーバーへの日帰り旅行に参加しました。同行の先生がおすすめのお店や近道を教えてくださいり自分たちだけでは思いつかないような体験をすることが出来ました。初めて会う子と仲良くなることができとても良い機会となりました。

4. 食事

滞在中はホストマザーが朝ごはんと夜ごはんを用意してくれました。朝はサンドウィッチやシリアル、果物を用意してくれ、夜は日本人だということでお米の料理をたくさん作ってくれました。しかし日本食のように品数が沢山あるわけではなくシンプルな料理が多いと感じました。昼は学校のカフェテリアや近くのスーパーで買っていました。外食すると物価高を感じましたが友達とシェアをして工夫をしていました。



5. 観光

私が通った学校はロンドンの中心部にあり授業を受けた後、観光に行ったり授業の前に出掛けたりロンドンを満喫できました。ほとんどの観光地は徒歩や電車で向かうことができる距離でした。週末の学校がない日は学校のアクティビティに参加してドーバーと呼ばれるホワイトクリフの丘を5時間ほどハイキングしました。海は水温が低く入ることができませんでしたがビーチでゆっくりすることが出来ました。また、友達と計画を立てて少し離れた街を訪れました。日の入りが夜の8:30ぐらいなので公園で夜まで過ごし日本とは違う遊び方も楽しめました。私が一番気に入った場所はNotting Hillというカラフルな家が並ぶ街です。ショッピングも楽しむことができ思い出となりました。ロンドンは無料で入れる博物館や美術館が多く有名な絵画があり一人の時間も気楽に楽しむことが出来ました。



6. 最後に

この旅を終えて英語を話すことが好きになりました。それと同時に自分の実力不足にも気付かされました。これまでの私は試験のためだけに英語を勉強してきただけで本当の意味で「言葉を使う」という経験をしていませんでした。もちろん単語や文法などの最低限の知識を身に着けることは重要です。しかし、英語は言語です。声に出して相手に伝えなければ世界と繋がるためのツールにはなりません。そのことを身をもって学びました。



また、何よりも大切だと感じたのは「自分から行動する勇気」です。ロンドンでの初日、緊張で胸がいっぱいの中、それでも思い切って文化も言葉も異なる人に自ら話しかけた瞬間がありました。過去の自分では絶対に出来なかつたことです。勇気を出して言葉をかけたあの一步があったからこそ素敵な友達に繋げ、心を開き本当の友達になることができました。

そして、その時出会った友達とは国を越えて今もつながっています。帰国後も大阪で再会したり、時差がある中電話で連絡をとっています。

この短期留学は知識を増やすだけでなく学んだ英語を実際に使った挑戦でいっぱいの毎日でした。今までの自分の英語の勉強に対する考え方を変えてくれ、これから学び続けるための力となりました。今後の成長に役立てたいと思います。

